

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年3月12日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援センター)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1	・全員そろった時にバギーや布団(横になる用)また個人に合わせて準備した椅子等で場所をとるため狭く感じる。 ・机と椅子の軽量化。 ・コロナ対策するには限界がある。(ベンチ椅子等)給食は横並びで食べる。 ・各クラス連携しあってプレイルームの時間を決めている。	・部屋、プレイルーム、プールなど大きさは決まっているが、活動内容やその時間帯に必要なものを考慮しながら環境の工夫をしていきたい。 ・コロナ過であるため、感染対策をしていきたい。
	② 職員の配置数は適切であるか	13	3	・パート職員3人でなんとか補っている。 ・フリーの職員がいたら良いと思う。	園内での職員配置は4対1以下となっているので適切である。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	12	4	・収納が少なく狭い。物が多いので、隅々まで掃除が行き届いていない。 ・コロナのため、机の台数が多くなっており狭い。 ・活動や状況に応じてパーテーションを使用している。 ・トイレが工事されきれいになった。	年度始めに学園内の大掃除を行い、ある程度収納ができるように整えたが、それでも収納場所がない。収納場所がないことで、物が乱雑にならないように気を付けていく。 また、プレイルーム等の場所はほこりが溜まりやすいため、細目に掃除をしていくように各自気をつけましょう。 また、職員各自が汚れている箇所を見つけたら、そのままにせず自ら率先して掃除をするように心掛けます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	12	2	・職員全員が集まる時間を確保できていない。	PDCAサイクル等を取り入れているが、職員が集まって会議を行える時間がなかなか設けることができていない。そのため、業務整理をしていく事で、会議時間等を設けていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	16	0	・保護者からの意見はクラス間、必要に応じて責任者に伝えている。 ・毎年アンケートを出している。	保護者から意向があった際には、その都度職員同士で報告、連絡、相談が行われている。アンケートから受けた内容についても学園で対応が可能な範囲であれば、すぐに改善するように心がけている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			・分からない。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	2	・職員全員が集まる時間を確保できていない。 ・学習会の機会も増えた。 ・学習会を行っている。 ・オンラインの研修にも参加することができ	定期的に研修の機会を設けていけるように、今後業務整理を行っていききたい。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	16	0	・クラス担任制になり、同クラス他職員と話をしながら内容検討をしている。 ・ポスター等でアセスメントを行っている。	一人の主観のみで計画を作成せずに、職員間で話し合い子どもの像を捉えて今後も作成していく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	0	・遠城寺式発達検査を使用。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	16	0	・クラス会議にて毎月考えている。 ・クラス会議の確保 ・クラス会議を行っている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	0	・季節の課題を取り入れたり、少しずつレベルアップした活動にしている。 ・行事、季節、子どものタイプに合わせて考えるようにしている。 ・季節に応じて活動内容を考えている。	1年間で段階を踏んでいけるようなプログラム作りを心掛けているため、そのプログラム内容を保護者に伝えていく必要がある。子どもたちが楽しめる遊びや活動を考えていく中で、たくさんのアイデアを出していけるように職員の学びも深めていきたい。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	16	0		

	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはするようにしているが、朝忙しい時には出来ないこともある。</li> <li>・バス当番や係の仕事で抜けると十分に打ち合わせできないことがある。</li> <li>・当番等でクラス職員全員が内容確認できない事もあるが、なるべく確認は細目にしあっている。</li> <li>・クラス間でしっかり話し合っている。</li> </ul>	早番、遅番、バス当番等の役割分担があることで、療育前の時間に打ち合わせをすることが難しく、課題ではある。しかし、毎月クラス活動の計画を立てているため、事前の打ち合わせや計画に沿って係分担がない職員で準備を行っていききたい。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスをメモとしてクラスのファイルに記入し、全員で支援の共通理解をするようにしている。</li> </ul>	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	1		クラス毎で、必要な支援や改善・対策について話を行って取り組んでいる。また、クラス内で解決が難しい案については、ケース会議等を通して改善へと繋げていきたい。
	⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前・後期2回。</li> <li>・個別の評価シートの活用。</li> </ul>	年2回聞き取りを行い、その際には職員間で支援目標の見直しを行っているため、継続して行っていききたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行っている。</li> </ul>	担当職員と児童発達支援管理責任者とで行っている。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> <li>・あまり関わりはないように思う。</li> </ul>	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> </ul>	定期的に関係機関との連携を行っていききたい。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> </ul>	定期的に主治医や協力医療機関と連携を行っていききたい。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> <li>・その都度、連絡を取り合っている。必要であれば見学を行っている。</li> </ul>	
	㉖ 移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> <li>・就学支援、学校見学へ行く。</li> </ul>	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて行う。</li> <li>・コロナのため、児発協の研修はなかった。</li> </ul>	今年度は、コロナ過のため、オンライン研修であった。あれば積極的に参加していききたい。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流保育もあるが、感染症や行事等の関係で行っていないことも多い。</li> <li>・コロナで回数は減っているが、交流をもっている。</li> <li>・交流保育あり。</li> <li>・コロナの関係で今年は少ないが、隣の保育園と交流を行っている。</li> </ul>	コロナの感染状況や様子を見てできる範囲で行っていききたい。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会で研修を聞くことはある。</li> <li>・分からない。</li> </ul>	子ども部会は、学園の相談支援専門員たちで運営しています。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、ポータルページにて行っている。</li> </ul>	
㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータルページを行っている。</li> </ul>		
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0			
㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達、保護者のニーズを踏まえ作成し、説明をしている。</li> </ul>		

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のポーター指導。</li> <li>・連絡帳や送迎時。電話相談をしている。</li> <li>・支援を行っているが、悩みに適切な返答をできているかは分からない。そのため、自分の引き出しを広げたい。</li> </ul>	学習会や研修会等を通して職員の質の向上を図っていききたい。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の会にて行っている。</li> </ul>	コロナ過で、今後どのような支援・サポートができるか検討していききたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス間で必ず共有するようにしている。</li> <li>・場合によっては自発管、園長が対応している。</li> </ul>	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度ホームページの更新がない。</li> <li>・ホームページで行っている。</li> </ul>	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気を付けているが、写真や回覧物など机に出ている事がある。</li> </ul>	個人情報の物に関しては、施錠された場所に保管するようになってきている。しかし、回覧物の中にも個人情報がある時があるため、回覧時に通常の回覧と個人情報のものを区別する等注意する。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため×？</li> </ul>	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	0		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0		各種災害の訓練を行っているが、今後も必要な訓練があれば行っていききたい。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	15	0		全員に回覧しているが、主にクラス職員は把握できている。他クラスになると意識として薄れる時があるため、職員同士の掛け合いや情報共有の意識を日頃から身に付けていきたい。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エビペンの扱い方について研修を行っている。</li> </ul>	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に事例検討も行っていくと良いと思う。</li> <li>・報告書も職員がみんな見られるように。</li> <li>・全体に報告、記録に残す。</li> <li>・その都度、朝礼で報告している。</li> </ul>	ヒヤリハットは朝礼で報告し、記録に残している。今後はヒヤリハット事例集を作成して共有することが課題です。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員が集まる時間を確保できていない。</li> </ul>	時間の確保が難しいが、業務整理を行うことで研修時間の確保を行っていききたい。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の同意書あり。</li> <li>・十分に説明しきれていないかもしれない。</li> </ul>	身体拘束や行動制限について保護者には入園前に説明している。ケースごとに事前説明して、計画に書くようにしている。